

【区画整理事業】「おさつ駅みどり台地区」、「北陽高校前」、「あずさ地区」の各区画整理事業を進めます。

【土地利用】社会経済状況に対応した「都市計画マスタープラン」の見直しに取り組みます。

【農林水産業】戸別所得補償制度のモデル対策のほか、新規就農者への支援や女性農業者の経営参画を促します。

また、認定農業者などを育成するとともに、林業では森林の整備と保護を進めます。

このほか、地産地消などに寄与するグリーン・ツーリズムへの支援を継続するとともに、新たな農業振興計画づくりを進めます。

さらに、農業用排水路の再整備について関係機関と協議を行うほか、支笏湖産ヒメマスのふ化放流事業の推進に取り組みます。

【ホトニクスバレープロジェクト】産・学・官連携による研究開発のほか、新産業などの集積を進めます。

【中心市街地の活性化】空き店舗利用促進事業などの支援を継続し、また、平成23年度以降の商業振興プランを検討します。

【観光の振興】観光連盟など

会計別の予算

一般会計	432億8,664万0千円 (431億8,015万9千円)
7特別会計	121億4,765万6千円 (120億4,140万2千円)
・国民健康保険	82億2,014万4千円
・土地取得事業	3,889万1千円
・公設地方卸売市場事業	4,208万1千円
・老人保健	233万0千円
・霊園事業	6,280万3千円
・介護保険	30億5,824万2千円
・後期高齢者医療	7億2,316万5千円
3公営企業会計	147億1,412万7千円 (142億6,920万1千円)
・水道事業	27億7,428万6千円
・下水道事業	57億4,126万5千円
・病院事業	61億9,857万6千円
合計	701億4,842万3千円 (694億9,076万2千円)

※（ ）内は、平成21年度の数値です。

一般会計の歳入内訳

一般財源	240億6,033万5千円 (238億7,591万7千円)
特定財源	192億2,630万5千円 (193億0,424万2千円)
合計	432億8,664万0千円 (431億8,015万9千円)

※「一般財源」とは、市税など、市が使いみちを自由に決められるお金です。

※「特定財源」とは、国・道支出金など、使いみちが決められているお金です。

※（ ）内は、平成21年度の数値です。



と連携し、観光振興事業に取り組みほか、道の駅「サーモンパーク千歳」などの観光拠点からさまざまな情報発信を行います。

また、支笏湖ポロピナイ地区の再整備を国に働きかけるほか、支笏湖温泉の代替泉開発の基本計画をつくります。

【中小企業への支援】商工会議所や金融機関と連携し、中小企業者の資金繰りの負担軽減を促します。

【雇用】ハローワークなどと連携し、緊急雇用対策事業を継続するとともに、雇用情報センターを通じて市民の就業活動を支援します。

また、就職が決まっていない新規卒業者を市の臨時職員として任用します。

参加と連携による都市づくり

【男女共同参画社会の実現】男女共同参画月間で講演会や街頭啓発を行うほか、「男性の料理教室」を市民協働事業として開催します。

また、小学校児童用の学習副教材の活用や標語コンクールの取組を進めます。

【市民協働によるまちづくり】平成20年度から順次取組を進めている7件の市民協働事業に継続して取り組むとともに

に、新たに「広報ちとせ表紙写真撮影事業」など3件の事業を開始します。

また、市民協働の取組の結果を分析し検証を行う評価システムをつくりまます。

【戸籍の電子化】戸籍総合システムを導入し、紙による戸籍簿を電子データ化します。

【市民参加によるまちづくり】「市長の出前講座」や「市長への手紙」、「市長へのポスト」などに寄せられる市民の声を市政に反映するとともに、「広報ちとせ」などを活用し、市政の現状やまちづくりに関する情報を積極的に公開します。